

頸管長

- 中期の流産や早産の既往がある妊婦には妊娠16週頃までに頸管長を測定
- 頸管長3～4cmが正常(平均34mm)
- 2cm以下の症例は流産のハイリスク
 - 分娩施設に早めにコンサルトを
- 妊娠初期には子宮峡部と頸部の区別が困難
 - 5cm以上に計測される場合

CRL計測の記録を診療ノートに

